

令和2年度

黒石市に対する緊急要望事項の回答

黒石市

# 黒石市に対する緊急要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

要 望 事 項		担 当 課
1	新型コロナウイルス感染に関する検査体制の確立と待機用宿泊施設の設置について（新規）	新型コロナウイルス感染症対策室
2	黒石グルメ券発行事業の第2弾について（新規）	商工課
3	黒石プレミアム付き商品券発行事業について（新規）	商工課

要望事項 1 新型コロナウイルス感染に関する検査体制の確立と待機用宿泊施設の設置について（新規）

担当課・機関名 新型コロナウイルス感染症対策室

要望事項の内容

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、4月より政府から移動自粛が求められており、そのため社会経済活動が滞っている状態が続いていた。10月1日より「GoToトラベル」「GoToイート」事業が徐々に全国展開されるなど、景気回復に向けた対策が講じられてきている。

このような経済対策が取られている中、新型コロナウイルス感染者やその御家族に対する心無い行為があり、全国的な問題となっている。本市においても、今後同様のことが起きると予想される。

新型コロナウイルスに感染しているかどうかを調べるPCRなどの検査は、現在、感染が疑われる症状があり、医師が必要と認めた人や、症状がなくても患者の濃厚接触者と認められる人に対して、検査に係る費用を行政が公費で負担する形で行われているが、感染しているリスクが低いと思われる人は、約2週間の自宅待機を余儀なくされている。民間企業では、何らかの事情があって本人又は同居家族が感染リスクが高い場所に行った場合は2週間会社を休むなどの外出自粛を行い、その間休業補償するなどの対策をしている。

つきましては、新型コロナウイルス感染発生があっても、企業活動の維持が守られるよう検査体制の確立と検査料の助成について要望します。

また、軽度感染者及び感染の疑いがある方が自宅待機となる場合、同居家族への2次感染の可能性が高い。さらに、高齢者と同居している場合、その危険性は高まり被害も大きくなることが予想されるため、一定期間隔離して居住できる施設の確保を要望します。

要望事項に対する回答

新型コロナウイルス感染症に係る検査については、感染が疑われる方に対し保健所や医師の判断により実施されており、検査で陽性となった場合は、積極的疫学調査により感染者の行動歴などから濃厚接触者を特定し、順次検査を行っています。

また、クラスターの発生など感染の連鎖が生じやすい状況では、対象を濃厚接触者よりも広い範囲で捉え検査を実施することにより、県内における感染拡大を抑え込んでいる状況にあります。

これらの対応については、あくまでも感染拡大防止という観点から行政検査として公費で賄われているところであり、濃厚接触者以外の無症状者や感染疑いのない方が個人の都合により検査する場合などについては、全額自己負担により実施すべきものと考えます。

したがって、行政検査以外の検査に対する費用助成については現在考えておりませんが、市内における大規模クラスターの発生など感染拡大が懸念される場合には、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方などを対象とした検査の実施について検討してまいります。

また、一定期間隔離して生活できる施設については、県では無症状や軽症患者の入院以外の療養場所として宿泊施設を確保し、自宅療養が困難な方に対応しています。

ご要望の、感染していない方が自主的に隔離生活を希望する場合の施設については、宿泊施設の要件としてシャワー・トイレ付の個室が必要など、市内における一定要件を満たす施設の確保という課題はありますが、今後の感染状況を注視しながらニーズの把握に努め、状況に応じて検討してまいります。

様式 1

要望事項 2 黒石市グルメ券発行事業の第2弾について（新規）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を緩和し、地域の消費喚起に寄与するために発行した市内飲食店等で利用できるグルメ券毎戸配布事業が大変好評であった。緊急事態宣言が解除されたものの未だ予断を許さない状況が続いているため、市内の社会経済活動は回復せず、特に外食需要は低迷、飲食店は苦しい状況が続いている。  
つきましては、地域消費喚起のため、黒石市グルメ券発行事業の第2弾を要望します。

要望事項に対する回答

黒石グルメ券発行事業は、令和2年4月27日に市の住民基本台帳に記録されている世帯を代表する者に、3,000円分の飲食が可能なグルメ券を交付し、令和2年6月27日から令和2年12月26日までの間、当該事業に賛同する市内飲食店等で使用してもらうことで、市内の飲食料品小売業又は飲食店を、市民を挙げて応援しようとするものです。

令和2年12月15日時点で、黒石グルメ券は総発行額約4,100万円のうち、約2,900万円分換金手続きが済み、約70%使用されていることから、市としましては、本事業が市内飲食店等における経済の活性化に効果を発揮していると認識しており、今回、黒石グルメ券発行事業の第2弾の実施要望を受けまして、改めて、高い有効性があると考えております。

現在、国においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出自粛や営業時間短縮及び休業要請等より甚大な影響を受けている飲食業の需要喚起を図るため、令和3年3月31日までの間、「GO TO EAT キャンペーン あおもり」が実施されております。

今後、国及び県の経済支援策の動向を確認しながら、市内飲食店等における消費喚起策を検討したいと考えております。

様式 1

要望事項 3 黒石プレミアム付き商品券発行事業について（新規）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、黒石市内の事業者の小売・飲食・製造・サービス業の4業種で売上が昨年同期と比較して減少している企業が8割以上となっています。（令和2年6月 青森県新型コロナウイルス感染層に伴う影響状況調査より）  
つきましては、市民生活の応援、消費喚起による事業者の事業継続のため市内の店舗（業種、本社所在地を問わない）で使用できる商品券にプレミアム分を付加した商品券発行事業を要望します。また、地域経済の回復を図るため可能な限り早期の実施を希望します。

要望事項に対する回答

市は、市内飲食店等への支援のために黒石グルメ券発行事業を実施し、市民を挙げて、地域経済の早期の回復に努めておりますが、プレミアム商品券は、市内飲食店のほか、小売業や卸売業等、幅広い業種で使用できるものと考えております。  
今後、国及び県の経済支援策の動向を確認しながら、多様な市内各店舗での消費喚起につながる支援策を検討したいと考えております。